

## 今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2013年8月16日]

### 7月の農業情報

**タイトル** 部会の栽培技術UPに繋がれ、輪ギクほ場共進会

**とき** 平成25年7月25日(木)

**ところ** 田原市

**主体・対象** JA愛知みなみ 輪菊部会 857戸

#### 内容

第28回田原市・JA愛知みなみ夏ぎくほ場共進会が開催され、田原農業改良普及課長を審査長とした10名の審査員による厳正な審査の結果、上位8ほ場が金賞を受賞した。第1席の愛知県知事賞は、平田氏の「精の一世」が受賞した。炭酸ガスの施用や深耕による土壌改良で根張りを向上させ、高い秀品率と収量性(定植本数155本/3.3㎡)を達成したことが評価された。

また近年業務需要が低下するなか、盆、彼岸といった物日を中心に仏花に使用するM・S品のキクの需要が高まっており、共進会にも物日栽培用ほ場が3点出品され、うち2点が2席、3席を受賞した。幅120cmの広幅ベッドで施設利用率の向上を図り、定植本数を190～220本/3.3㎡と増やしつつ、高い栽培技術により草丈や開花揃いが秀でていたことが、受賞の決め手になった。

今後、普及課は上位入賞者の栽培内容をまとめ、秋の講習会で会員に紹介する予定であり、優良ほ場の情報の共有による部会員の栽培技術の向上が期待される。



審査の様子



ベッド幅の広い物日栽培用ほ場